

シラバス参照

授業科目名	保育の国際比較
単位数	2
授業形態	演習
講義コード	5704
授業担当者氏名	五十嵐淳子(イガラシ ジュンコ)

授業の到達目標 (ディプロマポリシーとの関連)	①グローバル社会において、国際理解の基本的知識を身に付けることができるようになる。 ②諸外国の教育・保育の違いを踏まえ、国際的な保育・幼児教育を取り巻く動向を理解することができる。 ③日本の保育・幼児教育について再考し、様々な視点から総合的に保育・幼児教育を捉え、具体的に自分の意見を述べるようになる。	
授業概要	この授業はグローバル社会において必要な基礎的な国際理解の知識や諸外国の保育・教育に触れることで諸外国の現在の動向を探求し、様々な視点から保育や幼児教育についての学びを深める。	
教育課程内の位置づけ	基礎教養科目 人間と社会・文化 3年 選択科目	
授業におけるアクティブな特徴	特徴	該当
	A: 課題解決型学習(PBL)企業、自治体等との連携あり	
	B: 課題解決型(PBL)連携なし	
	C: 討議(ディスカッション、ディベート等)	
	D: グループワーク	
	E: プレゼンテーション	
	F: 実習、フィールドワーク	
	G: 双方向授業(ICT活用なし: 対話型、リアクションペーパー等)	
	H: 双方向授業(ICT活用あり: クリッカー、manaba等)	○
	I: 反転授業	
	J: 外国語のみで行われる授業	
	K: オープンな教育リソース(JMOOC・edX・Coursera等)を利用した授業	
実施形態	メディア授業科目(オンデマンド配信)	
実施形態について	※本学では、授業科目を以下のとおり分類しています。 対面授業科目 : 授業回数の全部あるいは授業回数の半数以上を対面で行う授業科目 メディア授業科目 : 上記「対面授業科目」以外で、主にメディアで行う授業科目 ※上記実施形態と異なる授業回がある場合は、以下「授業計画」欄に記載しています。 ※新型コロナウイルス感染症の状況により、変更となる可能性があります。 変更の場合はmanaba等で連絡します。	
授業計画	第1回	国際理解とグローバル化
	第2回	国際関係を考える
	第3回	NGOと国際支援
	第4回	国際社会と英語教育
	第5回	グローバル社会における諸問題
	第6回	グローバル社会と海外での学び
	第7回	スペインにおける文化と教育

	第8回	ドイツの事例から見る保育・幼児教育
	第9回	子育て支援・保育の国際比較
	第10回	国際理解と諸外国の保育
	第11回	日本の幼児教育における英語教育
	第12回	子どもの未来を託す国際社会と子ども理解
	第13回	教材から考える国際理解
	第14回	まとめ 自分と向き合う大切さ
授業外学修 予習(事前学修)	各授業 [平均100分]	毎回の授業の予習としてテキストを読み、関連文献や情報を収集に取り組むこと。
授業外学修 復習(事後学修)	各授業 [平均100分]	授業後ば学習内容のポイントを整理し、関連項目の文献、インターネット等を活用しながら課題レポートをmanabaに提出すること。
評価方法	manaba上に提示した課題の提出 100%	
教科書等	五十嵐淳子編著『国際関係の学びーグローバル社会の子どもの未来を見据えてー』大学図書出版	
課題に対するフ ィードバックの 方法	必要に応じてmanaba上で講評を行います。	
その他		
授業担当者の 実務経験の有 無	なし	
「授業担当者の 実務経験の内 容」および「実 務経験を活かし た授業内容」		
ファイル		